

課題認識 (現行計画策定後にも、我が国の持続可能性を脅かしかねない急激な状況の変化)

(1) 中位推計を大幅に下回る出生数 (2) 新型コロナウイルス感染症の拡大 (3) 風水害を中心とした自然災害の激甚化・頻発化

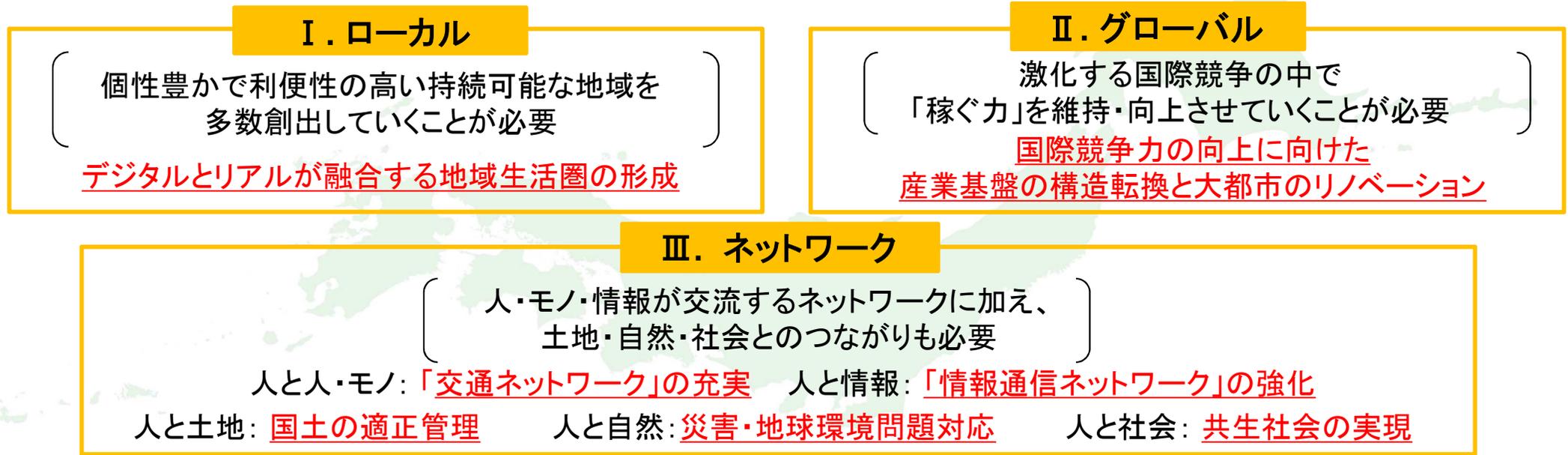
(4) デジタル革命の急速な進展 (5) 2050年カーボンニュートラルの宣言(地球環境問題の切迫)

国土づくりの目標 : 『真の豊かさ』を実感できる国土

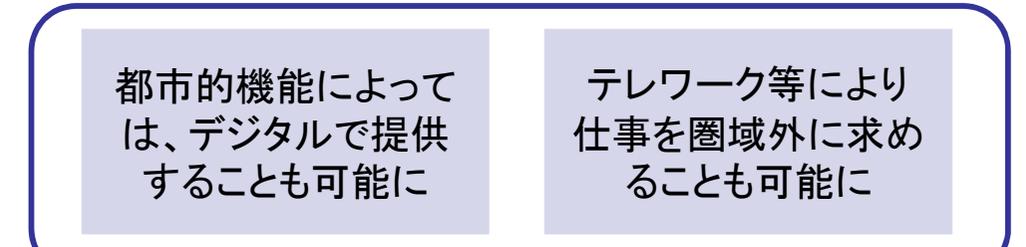
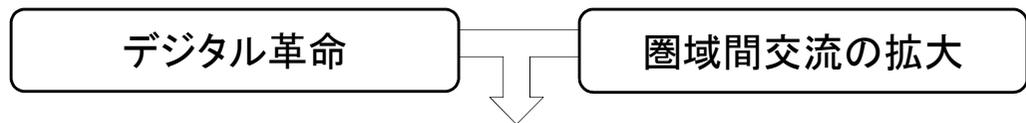
「真の豊かさ」は個々人の価値観に基づき多様で、一様には示せない ⇒ それを追い求めるために、以下のような共通の土台は必要

- | | | | |
|--|---|---|---|
| ① 安全・安心 <ul style="list-style-type: none">○ 災害への対応や医療体制の充実○ 国土の全域において、将来にわたり地域における暮らしを維持 | ② 自由・多様 <ul style="list-style-type: none">○ 価値観が多様化するなか、多様な選択肢の中から、働き方・暮らし方・生き方を自由に選択できる | ③ 快適・喜び <ul style="list-style-type: none">○ 暮らしにおける利便性が高い(都市的機能等)○ 経済が成長し「稼ぐ力」がある(物的豊かさ)○ 自然、文化等に富み環境が快適○ 生きがい・働きがい等(心的豊かさ) | ④ 対流・共生 <ul style="list-style-type: none">○ 人・モノ・情報が様々な形で交流する○ 外国人も含め、多様な人と交流し共に生きる社会環境が整っている |
|--|---|---|---|

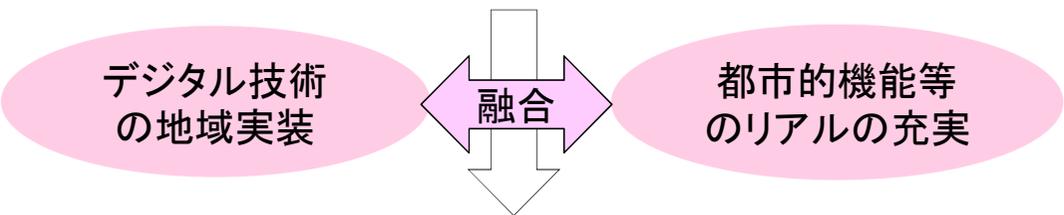
国土づくりの3つの視点 :



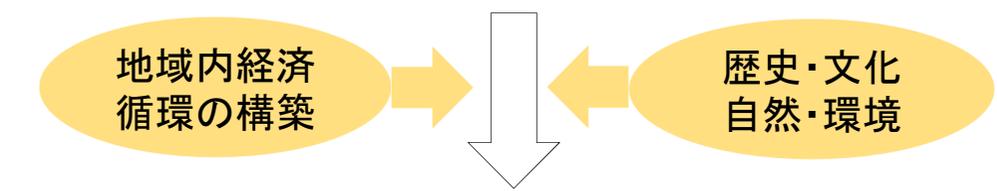
【I. ローカル】 地方への人の流れを生み出す多彩な地域生活圏の形成



以前より少ない人口規模でも生活圏の取組が可能



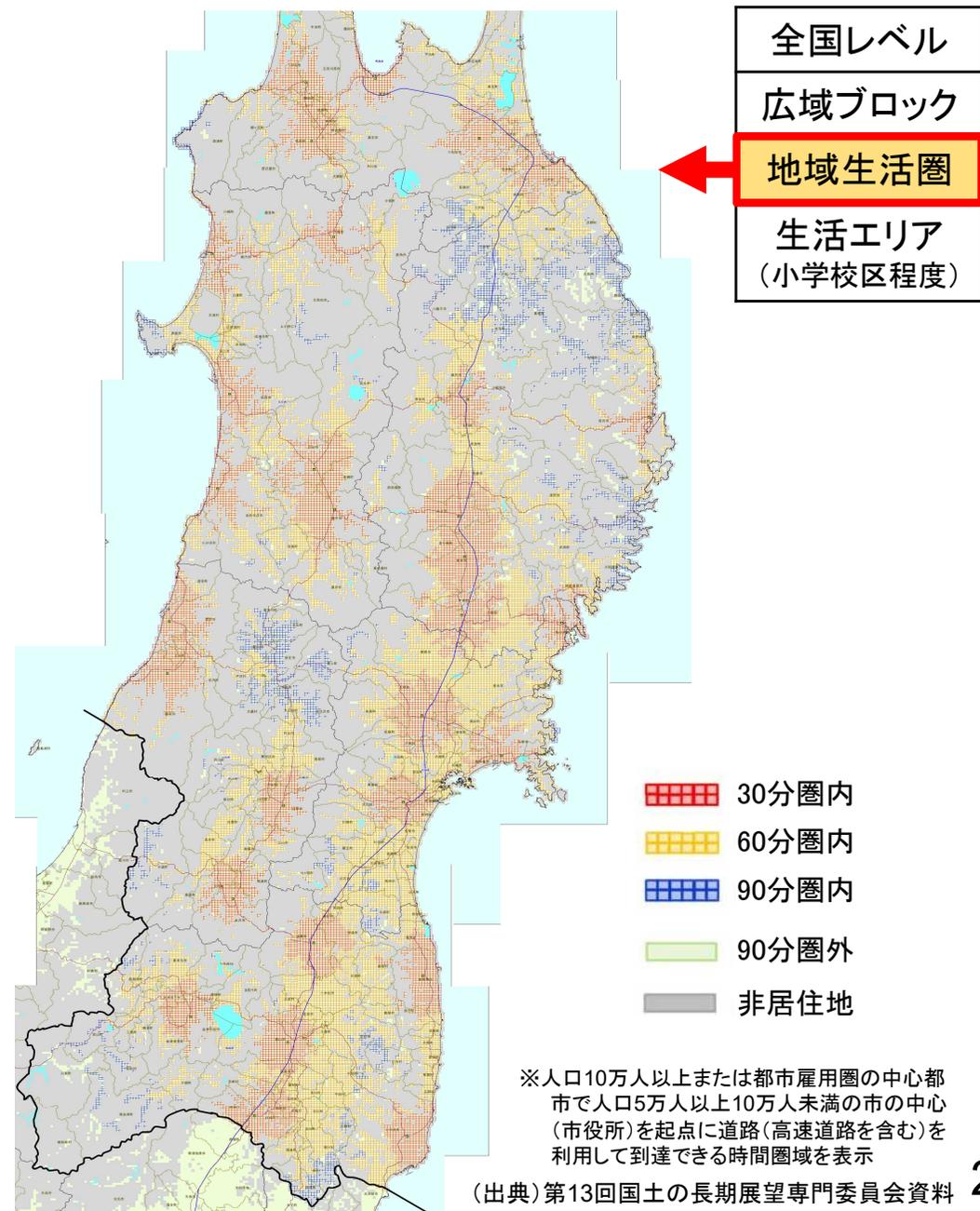
デジタル化のメリットを暮らしに最大限反映



国土全体に個性ある魅力的な地域を多数創出

多様な価値観に対応した選択可能な国土
(二地域居住や移住の受け皿に)

地域生活圏のイメージ



【I. ローカル】 デジタルとリアルが融合する地域生活圏の取組

デジタル化の推進、リアルの充実に加え、両者を有効に組み合わせる取組を地域の特性に応じて圏域単位で実施

＜デジタル化の推進＞

- 行政・民間等の各種手続きのデジタル化
- オンライン診療・教育等の環境整備
- デジタル技術の導入によるローカル産業の生産性の向上
- テレワークの推進に向けた環境整備・雇用慣行の見直し
- 高齢者を始めとする地域住民のITリテラシーの向上
- 産官学や個人の様々なデータを共有するデータ連携基盤の構築 等

＜リアルの充実＞

- 都市的機能の確保・持続的な提供
- 「コンパクト＋ネットワーク」による効率的な地域づくり
(中心市街地活性化、交通の利便性向上 等)
- 良好な地域経済循環の構築・雇用の確保
(医療、福祉等の地域密着型産業の生産性向上
金融機関・大学等と連携した成長産業の育成 等)
- 農林水産業の生産性向上・成長産業化、農山漁村における人材の確保
- 女性、高齢者の社会参画や子育て環境の整備
- 地域分散型エネルギーシステムの構築
- 周辺地域とも連携した地域防災・国土管理の適正化
- 地域固有の文化等による魅力ある地域づくり 等

＜デジタル×リアル＞

- ビッグデータを活用した個々人に対するきめ細やかな生活関連サービスの提供
- 対面と遠隔のベストミックスによる効率的で質の高い医療・教育等の実現
- 生活における様々な活動と移動・交通のシームレスな連携
- リアルタイムでの避難者情報の把握による災害時の迅速かつ的確な支援
- AIやIoTを活用した地域エネルギー需給の最適化
- テレワークの活用で、地方に居住し都市の所得を得る“新たな暮らし”の実現
- デジタル・リアルのデュアルモードによる地域間交流の充実 等

歴史・文化・自然環境等も活かして、個性ある多様な地域生活圏を形成

【Ⅱ. グローバル】

国際競争力の向上に向けた産業基盤の構造転換と大都市のリノベーション

課題・背景

- ・人口減少に伴う深刻な活力低下を危惧
- ・進展するアジアダイナミズムや国際情勢の変化に対応しつつ我が国全体としての「稼ぐ力」を維持強化し、持続的な経済成長を成し遂げていくことが必要
- ・大都市は国際競争力を発揮し、日本経済を牽引することが期待されるが、東京都の経済成長率は地方圏より低い
- ・リニア中央新幹線開通により、都市圏間の時間距離の短縮

新時代に対応した産業構造への転換

○イノベーション創出による付加価値の高い製品・産業の創出や生産性向上

- ・大学を核としたイノベーションエコシステムの形成や産学連携の推進等による技術の実用化の推進
- ・イノベーションの担い手となる人材の確保
- ・交流を促す都市（ウォーカーブル都市等）の形成 等

○重要分野への重点的取り組み

（カーボンニュートラル・環境対応、デジタル分野等）

○我が国の強みも生かした成長戦略

- ・グローバルニッチ分野での国際競争力の維持・向上
- ・農林水産物・食品の輸出の拡大
- ・データ×AI化の「二次的応用」分野で、地域生活圏に実装するきめ細やかで利便性の高いサービスの育成
- ・地域の大学と連携した地域発のグローバル産業育成 等

○多様な人材の活躍促進

- ・アクティブシニアや女性等の更なる労働参加の促進による活力の維持・向上 等

大都市のリノベーション

○従来型の労働集約型からの脱却

- ・金融・研究など、知識集約型の高付加価値なビジネス集積地としての発展
（労働集約型からの転換は東京一極集中の是正にも寄与）

○グローバルビジネスに対応したビジネス環境機能の充実

○高度外国人材を受け入れるまちとしての居住環境の充実

スーパー・メガリージョンによる新たな価値の創出

○短時間で結ばれる三大都市圏の機能・強みの融合によるシナジー効果の最大化

- ・リニア駅の周辺等の交流環境の充実
（テレワークを前提とした中間駅周辺の活用等）
- ・他の交通ネットワークとの接続性を向上による効果の広域的波及

【Ⅲ. ネットワーク】 交通・情報通信ネットワークの充実・強化

① リアルな交流の基盤である「交通ネットワーク」の充実

課題・背景

- ・ 地方部の鉄道や路線バスにおける輸送人員の減少
- ・ 成長著しいアジアを念頭に置いた国際ゲートウェイ機能強化の重要性
- ・ 自動車を中心とした運輸部門におけるCO₂排出
- ・ 災害時や老朽化に伴う機能維持への危惧 等

ローカル、グローバルの各段階における交通ネットワークの充実

- ・ 地域生活圏内の移動手段の充実
(デジタル技術を活用した弾力的な料金や柔軟なルート設定 等)
- ・ 地域間を結ぶ交通の利便性向上
(ミッシングリンクや暫定2車線区間の解消 等)
- ・ 国際間の交通ネットワークの充実
(港湾の船舶大型化への対応、国際空港の発着容量拡大 等)

環境、防災、老朽化等への対応

- ・ 各交通モードでのカーボンニュートラル施策の推進
- ・ 施設の耐災性向上やリダンダンシーの確保
- ・ 予防保全型のメンテナンス強化・機能の高度化
- ・ 持続可能な形で更新・充実等を図る仕組みの検討

② リモートの交流の基盤である「情報通信ネットワーク」の強化

課題・背景

- ・ テレワーク等の普及による情報通信ネットワークの確保の必要性
- ・ ハード面に比べ、行政サービスや教育、産業等におけるデジタル技術の活用が不十分 等

情報通信網の整備・活用促進

- ・ 光ファイバの未整備地域や通信容量増加への対応
- ・ 住居等の建物への「ラストワンマイル」の整備促進
- ・ 幅広い世代でのITリテラシーの向上、IT人材の確保 等

【Ⅲ. ネットワーク】 土地・自然・社会との“つながり”

③ 人口減少に応じた「国土の適正管理」の推進

課題・背景

- ・人口減少等により、森林、農地等が管理不全に陥り、周辺地域や国全体に悪影響を与える可能性

「国土の管理構想」等による取組推進

- ・持続可能な国土管理の在り方を「国土の管理構想」で提示
- ・地域住民等が作成する「地域管理構想」の取組を推進
- ・地域、市町村での国土管理の話し合い等への支援 等

④ 防災・減災・国土強靱化による 「安全・安心な国土」の実現

課題・背景

- ・気象災害の激甚化・頻発化
- ・インフラの老朽化の加速 等

防災・減災、国土強靱化等の取組推進

- ・防災・減災を考慮することが当たり前となる社会の実現
- ・「5か年加速化対策」の推進
- ・流域全体での治水対策の取組
- ・災害ハザードエリアの土地利用規制・誘導
- ・東日本大震災からの復興と教訓を生かした取組 等

⑤ 「2050年カーボンニュートラルの実現」 に資する国土構造の構築

課題・背景

- ・脱炭素化に向けた国際的な取組
- ・再生可能エネルギーのポテンシャルに地域差 等

カーボンニュートラル等の取組推進

- ・「グリーン成長戦略」の推進
- ・分散型エネルギーシステムの形成
- ・再エネポテンシャルに応じた居住や産業立地の在り方の検討 等

⑥ 真の豊かさの実現に向けた「共生社会」の構築

課題・背景

- ・世界中の人々と支え合い、共感し合う「共生社会」の構築

「共生社会」の構築に向けた取組推進

- ・女性・高齢者等の社会参画の促進
（子育て環境の改善、リカレント教育の充実等）
- ・バリアフリーやユニバーサルデザインの推進、外国人や外国にツールを持つ人が魅力を感じる社会の実現
- ・多様な価値観に応じた選択可能な国土づくり
（二地域居住等の暮らし方、テレワーク等の働き方等）
- ・関係人口やNPO等多様な主体による共助の取組 等